【日刊留萌新聞・羽幌タイムスに掲載されました】

羽幌高校文化展を開催しています。

２月１日（金）～１４日（木）の期間、サンセットプラザ１階において「羽幌高校文化展」を開催しています。美術部や図書局の作品、生徒会による学校行事の紹介写真を展示しています。

１１日（月）には、吹奏楽局によるミニコンサートを実施します。

是非お立ち寄りいただき、本校文化部の創作活動をご覧下さい。

＜羽幌タイムス＞

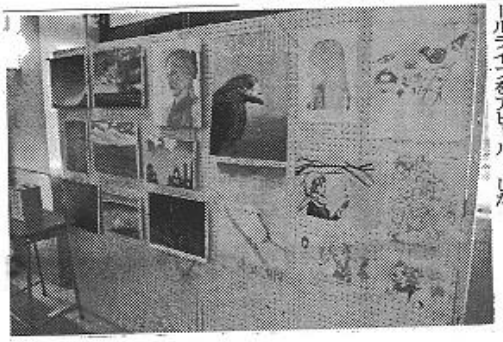
羽幌高文化系クラブの文化展
油絵小作品、オススメ本紹介

【羽幌】羽幌高校の文化系部活動合同展示発表会『文化展』が一日から、サンセットプラザで始まった。入浴客らが、創作活動やボランティアなどに汗を流す羽高生の姿にふれている。

日頃の成果を地域の人たちにみてもらい、今後の活動につなげようと恒例の文化展。美術部、図書局、吹奏楽局、生徒会が参加した。吹奏楽局のミニコンサートは十一日祝日の午後十二時半からエントランスホールで開かれる。

校外活動にも取り組む図書局は、キャリア教育講演会で東日本大震災直後の石巻西高生徒の姿を語った中沢宏一さんが寄贈したという「生かされて生きる」（斉藤幸男著）ほか、池井戸潤の「下町ロケット2」、ごん狐、注文の多い料理店、人間失格など「有名な文学作品を10ページほどの漫画でみる」、ココ・シャネルの言葉（山口路子著）などオススメ本を紹介、オリジナル大型紙芝居「かのんちゃんと森のおんがくたい」も一冊にまとめて展示している。

美術部は今回テーマを設けずに油絵の小作品、愛鳥週間、学校祭、展のポスター原画など、生徒会はスナップ写真を織り込みながらスクールライフをアピールした。



＜日刊留萌新聞＞

活動の成果を発表
羽幌高校が恒例の文化展

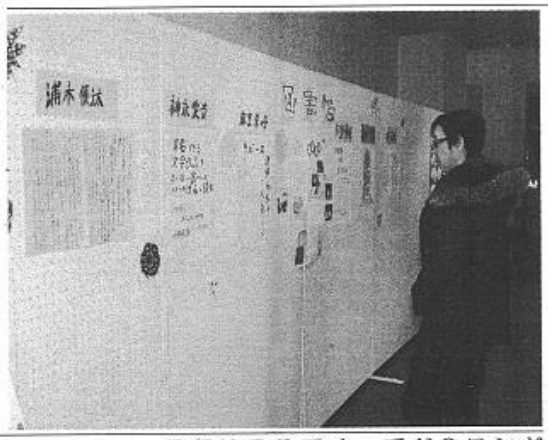
【羽幌】羽幌高校（宮下一裕加校長）の文化展（文化系部活動合同展示発表会）が、1日からはぼろ温泉サンセットプラザエントランスホールで始まった。絵画や図書ポスターなどの作品が、来館者の目を楽しませている。

文化系部活動の成果を多くの町民に見てもらうことで、生徒の創作意欲を高めることなどが狙い。毎年この時期に開いており、今年は吹奏楽局、図書局、美術部、生徒会の4団体が参加。このうち吹奏楽局を除く3団体が展示発表を行った。

美術部は、学校祭・愛鳥週間ポスターや風景画などの自由制作合わせて17点、生徒会は学校祭、体育祭といった学校行事やスクールライフを写真で紹介するポスター2点、図書局は「生かされて生きる」や「下町ロケット2 ガウディ計画」など6冊の本と活動を紹介するポスター、オリジナル紙芝居「かのんちゃんと森のおんがくたい」をリメークした大型絵本を展示。宿泊客や入浴客らが、文化系部の活動に触れながらポスターなどに見入っている。

展示は14日まで行われるほか、11日には吹奏楽局のミニコンサートを開催。「8人の奏者のためのケニアン・ファンタジー」、「昭和アイドル・コレクション」など、練習の成果を披露する。

（児玉一明）



図書局の本紹介ポスターなどを展示している羽幌高校の文化展